

令和6年第9回真庭市教育委員会会議録

会議種類	定例会	
開催年月日	令和6年7月29日(月)	
開会及び閉会時刻	開会時刻	09:30
	閉会時刻	11:07
場所	真庭市役所3階教育委員室	
会議録署名者	教育長 三ツ 宗宏	
	署名委員 常本 直史	
会議録作成者	教育総務課 課長補佐 吉鶴 尚美	

1 出席委員

職名	氏名	備考
教育長	三ツ宗宏	
教育長職務代理者	常本直史	
委員	徳山周一	
委員	高谷絵里香	

2 出席した者

職名	氏名	備考
教育次長	武村良江	
教育総務課長	浅野晃彦	
教育魅力化推進担当課長	荒井建太	
学校給食推進室長	丸山昭良	
学校教育課長	田中裕恵	
生涯学習課課長	谷岡理江	
図書館振興室長	佐藤弘敏	
教育総務課課長補佐	吉鶴尚美	

3 傍聴人

5人

4 議事日程

日程	案 件	結 果
	開 会	
第 1	教育長あいさつ	三ツ教育長
第 2	署名委員の指名について	常本委員
第 3	教育長諸報告	武村教育次長
第 4	付議事件	
	なし	
第 5	協議事項	
	令和 7 年度使用中学校教科用図書の選定について	
第 6	その他	
第 7	閉 会	

5 議事の概要

(09時30分 開会)

○三ツ教育長

これから第9回の教育委員会を開催します。今日、和田委員さんの方から欠席の連絡が入っております。お知りおき下さい。以下の議事日程に従って進めてまいります。まず、教育長挨拶ということです。

暑い日が続いています。皆さん、体調はいかがでしょう？この暑い中ではあるのですが、各地域で子どもたちが夏休みに入っていて、子供の居場所づくりでありますとか、学習支援でありますとか、あるいは体験活動でありますとか、盛んに行われています。本当に多様です。子ども仕事ではないことをやったださっているところもあるし、広がる子どもたちを集めて遊ぶ機会をやったださっている。あるいは公民館で、子どもの学習支援をやったださって、真庭は改めて多彩だなということを感じるのと共に、それを支える地域の方々の活動に感謝をしています。そういったことを思いつつ、新聞報道でご存知だと思いますけれど、先日、臨時議会が開かれて、高校に関する基金というものを設けるということがありました。今日の新聞を見ていると、探究学習の楽しさを学ぼうということで、岡山探求ミーティングというのが開催されるということも載っていました。探究というのは、言葉としては非常によく使われる。あと身近な課題解決をやったださるとか、地域の協働をしようということのもよく使われる言葉ではありますが、一つ印象に残ったことがあるので、紹介をさせていただきます。私も人から聞いて、蒜高の高校生がこんなことを語ったんだということを知ったのですが、読み上げます。「蒜高は失敗する学校です。考えて、実際に行動に移して自分の夢を探している。実行するからこそ、失敗ができます。確かに蒜高には盛んな部活動みたいなものはないけれど、その分、将来やりたいことを時間をかけて探していく価値ある時間があって、それを自由に使うことができる。学校側もそれを応援してくれます。私たち生徒は、朝顔。先生はその支柱。朝顔が変なところに行かないように、上に向かって伸びていくよう、

自分の力を最大限発揮して、一番ナチュラルに綺麗に見えるように支えてくれます。だからこそ、私たちは挑戦できるし、どうすれば自分の力を最大限に発揮できるか、自分で見つけられるようになります。」ということ、高校生が中学生に向かって語ったんです。改めて感じます。探求とは、もちろんいろいろなプロセスがあるのですが、そのプロセスから、自分はどう生きようか？自分の価値をきづいて、土を探していく課程なんだろうと思いますし、そうした学びが、この蒜山の地で行われているということ、心強く思っているところがあります。確かに真庭市は中山間地域で田舎ではあります。だから、ないものも多い。これは事実だと思います。しかし、ないからこそ、知恵を使ってそこで生み出していくプロセスを楽しむということ、行動を通じて学び出しているということが、とても嬉しかったので、紹介をさせていただきました。

各地域で行われている子どもたちの体験活動、居場所作りの活動も、そうした支えになっていければよいと思っているところがあります。以上、気がついたことを紹介させていただきました。

続いて、日程第二、署名委員の指名ですが、今日は常本委員さんお願いします。

○常本委員

はい。

○三ツ教育長

続いて日程第3 教育長諸報告を教育次長よりさせていただきます。

○武村教育次長

(資料により説明)

○三ツ教育長

報告をさせていただきました。委員の皆さんからご質問、ご意見ありますで

しょうか。

よろしいですか？

続いて、日程第四付議事件です。今回は、付議事件がありません。

日程第5、協議事項です。令和7年度使用中学校教科用図書の選定についてお願いします。

○田中学校教育課長

令和7年度使用中学校教科用図書採択について、今年度が令和7年度から使用する中学校の教科書の採択年度となっていることから、教科書選定委員会等の調査研究及び報告を受けて、1種選定のための協議をしていただきます。よろしく願いいたします。

それでは、まず経過を報告させていただきます。今年度は、令和7年度から使用する全中学校全種目の教科書採択の年で、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律に従って、8月31日までに採択事務を完了しなければいけません。

採択の権限をご覧ください。採択の権限は、公立学校にあっては、地方教育行政と組織及び運営に関する法律23条の6により、所管の市町村教育委員会に採択権があります。また、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第12条により、採択地区とありますように、共同採択の方が定められ、それぞれの種目ごとに地域内で協議し、同一の教科書を採択しなければならなくなっております。県内には8つの採択地区があり、その一つが津山地区教科用図書採択市町村教育委員会協議会で、10の市町村で構成されております。10の教育委員会で構成される津山地区教科用図書採択市町村教育委員会協議会が協議をして、それぞれの種目で1種の教科書を選定するのですが、採択協議会は選定について意見を聞くために、校長先生を中心とした選定委員会を組織します。なお、選定委員会には、より開かれた採択とするために、保護者の方にも加わっていただいています。選定委員会の下には、教諭先生からなる研究委員会を組織します。研究委員会は全部教科書について調査研究し、報告書

を選定委員会に提出します。選定委員会は、その報告書を受けてさらに広い立場で調査研究を行い、意見を付した報告書を採択、協議会に提出します。採択協議会では、報告書をもとに1種選定に向けて協議を行ったのうち、一度それぞれの市町村に持ち帰ります。今回の教育委員会がそれにあたります。各市町村教育委員会では協議を行い、その結果を採択協議会が8月7日に行われることになっております。持ち寄った結果をもとに、最後に市町村教育委員会で1種採択し、令和7年度から使用する教科書が決まっていくという流れになっています。次回の8月23日がその日になります。5月7日の第1回採択協議会を受けて、教諭代表による研究委員会が3回開かれ、調査研究がなされました。また、校長、教諭先生代表とPTA代表による選定委員会が2回開かれました。その結果がお送りしている資料となります。教科書、研究報告書、研究資料となります。それらは文部科学省の資料をもとに、研究委員会、選定委員会の研究結果を踏まえて作成されました。対象研究報告書が先日7月4日の第2回採択協議会で報告協議されました。本日はその教科書、研究資料をご説明させていただき、この後ご協議いただきます。1種選定のための協議について、何卒よろしくお願いいたします。経過報告については以上となりますが、よろしいでしょうか。

○三ツ教育長

今の経過報告について、委員の皆さんからご質問、ご意見ありますでしょうか。

それではこれから1種選定にかかる協議に入っていきます。事務局から1種ごとにこれから説明がありますので、その後協議をさせていただけたらと思います。

【国語】

○田中学校教育課長

まず国語についてお伝えします。第1候補としては、三省堂「現代の国語」

が選ばれています。総評を読ませていただきます。文章を正確に読み解き、深く読み味わうための方法として、読み方を学ぶのに3年間で22種類の方法が示されていることや、自ら考え、判断し、表現する力を育む手立てがたくさん示されている。わかりやすいということで、第1候補となっております。

第2候補として、光村図書の「国語」が選ばれています。「学びへの扉」の中で、各単のおわりには、学習内容を活用した言語活動が設定されており、活動の手順が具体的に示されているというところの良さということで選ばれて、第2候補になったと報告を受けております。以上です。

○三ツ教育長

それでは協議を行いたいと思います。委員の皆さんから国語について、ご意見をお願いします。

○徳山委員

どの教科書も国語は難しいと思うのですが、探求的な学習の進め方が工夫されていると思いました。光村の「学びへの扉」それから三省堂は「学びの道しるべ」それから教育出版は「学びナビ」となっていたが、その役割を果たしているのかなと思いながらみました。「学びナビ」は題材の前にありました。それから、「学びの扉」と「学びの道しるべ」は、題材の後ろにあると思います。「扉」とか「道しるべ」が題材の後ろにあるのはどうなのかなと。「ナビ」は、本当にナビになるように、工夫されていると思いました。やや説明的で、もう少し簡潔になったら、すごく役に立つのではないかと思います。教育出版の「学びナビ」は本当によいと思ったのですが、もうちょっと工夫したらもっと良くなるなと思いました。三省堂の「読み方を学ぼう」はいろいろな読む力をつけていく技術的なものが、きちんと分類されて書かれていたので、これは本当に役に立つと思いました。三省堂も「学びの道しるべ」が「ナビ」のような形になればもっとよいなと思いました。以上です。

○三ツ教育長

ありがとうございます。1種選定の協議ということなんで、ご意見あれば。

○徳山委員

総合的に見たら、三省堂かなという感じです。

○三ツ教育長

ありがとうございます。他の委員のみなさんはいかがでしょう？

終わり方、それから読み方を学ぶという観点からのご指摘したが。

○常本委員

私は、小学校からのつながりと、中学校から高校へのつながりという視点で、教科書の全体を見ました。それで例えば、共通テストの問題を見ますと、長文がすごく多くなっています。だから、読む力が必要ではないかと思います。全体的にどの教科書も、私から見ると文章が短いと思います。これだけのことを学習しているのであれば、高校生はそれなりの力がついているはずなのに。もう一つかなという感じがすごくしました。だからある程度、全部ではなくてよいですが、長文というものが教科書の中にあってもよいではないかと思いました。また、評論文の、特に普通科といわれる高校とのつながりがすごく気になっています。評論文についての授業は、非常に教員の力の差がわかるような部分だと思いますので、そここのところの繋がりがどうかな？という感じはあります。私は、一番は教育出版ではないかと思いました。比較的長い文章が多かったのです。三省堂が2番目です。

これは、授業をする上でどちらかという個人好みであるかという感じはすごくしました。私は教育出版がなんとなく自分に合う。ここにも書いてありましたが、古典作品だけでなく、芥川、夏目漱石、森鷗外等の近代の文豪作品も出ているというのは、とてもよいと感じました。以上です。

○三ツ教育長

小学校との接合の視点からのお話でした。高谷委員はいかがでしょう？

○高谷委員

私は正直に言うと、自分自身にそういった知識とか経験があまりなくて、国語だけではなく、どの教科に関してもですが、すごくよくできているなという印象しか持てなかったというのが正直なところですよ。国語に関しても本当にすごく丁寧で、「学びナビ」ですとか「学びの扉」とか、その他に関しても構成がされていて、すごく細やかで丁寧だなと感じたのですが、その分、自由度、国語だけではなくて、どの教科に関してもなんですけど、自由度がこう固まってしまっているという印象を受けました。使いやすい先生は使いやすいだろうなとも思ったのですが、そのあたりが、すごいなと思いつつ、細かすぎるのかな？という印象を受けました。研究報告書等も拝見させていただいて、先生たちが本当にすごく吟味されているというのは実感しているので、今回選んでいただいたもので。私は、それ以外のものでよいなと思うようなことを気づけなかったんで、国語に関しては三省堂さんと思っております。以上です。

○三ツ教育長

様々な意見がありました。私自身もいろいろ思うのですが、三省堂は、ある意味、つけたい力というのが明確なのかな。それが表現されているので、うまく子どもと共有できれば、自律的な学びにつながる面もあるのかなと、見させていただきました。それぞれ、子どもたちの主体的な学びということと、学びの拡張、自分から学んでいくということへのベクトルがみてとれると思いましたが、三省堂が研究委員の方では第1候補ということなんですけど、委員のみなさんのご意見から真庭市の方でも三省堂ということでもよろしいでしょうか。

○全員

はい。

○三ツ教育長

国語については三省堂ということでお願いいたします。では、続いて書写についてお願いします。

【書写】

○田中学校教育課長

ありがとうございました。

続きまして、書写の第1候補は、東京書籍の「新しい書写」です。学年ごとの定着度が確認できるように、テストに挑戦という項目が設定されている。それから、問題解決型の活動により、発展的な取り組みにつなげるような工夫がされている。日常生活とリンクした内容の、生活に広げようという項目が設定されている点。構成として、視覚的に学習者の負担が少なくなるように淡い色使いで掲載されていたり、1ページあたりの情報量が適切で、余白を取ってあるために読みやすさとともに学習者の思考を促す余地が組み込まれている。そういう点が、良い点と受けられております。

第2候補が三省堂の「現代の書写」です。これにつきましては生活場面を例に挙げながら学習者で考えて表現する力を身につけることが、場面として設定されている点。文字に関わる仕事についている人たちが、大切にしている文字の魅力について話し合うような活動が設定されている点。構成としては学年ごとに色分けされ、細かな項目を一覧できるように配置されているような点。これが巻末に設けられているということで、第2候補となっております。以上となります。

○三ツ教育長

それでは書写についてご意見をお願いします。研究委員の方では第1候補が東京書籍です。いかがですか？

よろしいですか？

それでは、東京書籍ということによろしいでしょうか。

○全員

はい。

○三ツ教育長

続いて、社会の地理をお願いします。

【地理】

○田中学校教育課長

続きまして、地理ですが、地理は第1候補が帝国書院の「中学生の地理 世界の姿と日本の国土」となっております。各説のまとめ、振り返りとがあり、思考判断表現活動では、各地域ごとに学習のめあて設定されている。日本の諸地域では、各説の初めにその地域で学習する内容と関連したイラスト入りの地図があり、地域の特色を体感できる。日本と世界の地誌学習では、説の初めに二次元コード、見とおしスライドでは、各地域のテーマに沿った問いが示され、学習を見とおすことができる。資料が新しいというのが、研究委員の第1候補に選んだ理由となっております。

第2候補が日本文教出版の「中学社会 地理的分野」となります。世界や日本の諸地域などの地誌学習では、各地域の地形と人口密度との関わりが示されていたり、グラフや統計資料では色分けに工夫がされている。写真の掲載が多く、資料が充実しているというような点が、候補として上がっている理由となっております。

○三ツ教育長

それでは社会科地理につきまして、委員のみなさんからお願いします。

○徳山委員

どの教科書も、学習課題等が明確で、わかりやすいものだと思います。東京書籍の、「みんなでチャレンジ」というのがあったと思うんです。これはなかなか、うまく活用していったら日々の学習が深まっていけるのではないかという気がしました。それから、帝国書院の資料は見やすいし、地図との関連性もすごくいいなと思いました。専門性のある中学校の先生にとっては使いやすい教科書だと思いました。そういうことで、帝国書院が一番妥当かなと思いました。

○三ツ教育長

他にいかがでしょうか。よろしいですか。

今、徳山委員もおっしゃったのですが、帝国書院の教科書は地図や写真なども、学びにつながるように工夫して配列されているなどはすごく思いました。物が新しいということもあるのですが、ここが活用しやすい。教員が使いやすいという側面があるのかなと思います。

それでは社会科地理につきましては、帝国書院ということでよろしいでしょうか。

○全員

はい。

○三ツ教育長

それでは確認させていただきます。続いて、社会歴史についてお願いします。

【歴史】

○田中学校教育課長

続きまして歴史ですが、第1候補は、日本文教出版の「中学社会 歴史的分野」になっています。第1候補となった理由としましては、章の初めや、欄外に小学校での学習内容と関連させた年表や資料が掲載されている。既修事項と比較しながら学習活動を行うことができるという点や、閑谷学校や備前の写真

など、ほかの県内の歴史についての資料や記述が多いという点。資料の種類が多く掲載されている、特に近現代史等の資料が多いという点。複数の資料を比較しやすい配列化されている。人権に関する記述量が多い。着色写真が掲載されているというところです。

第2候補にあがったのが、東京書籍の「新しい社会、歴史」です。生徒が内容を整理しやすく読みやすいように、全体的に文字の大きさの量やバランスが端的に説明されているというところ。それから、生徒の興味を喚起する章単元の副題がつけられている。記述が簡潔で、資料が大きく見やすい。すべての章単元が見開き2ページに収まっている。いろいろな種類の思考ツールが紹介されていて、本自体が軽量化されているという点が評価されたようです。以上となります。

○三ツ教育長

それでは歴史について委員の皆さん、ご意見をお願いします。

○徳山委員

歴史は、学習課題の表現などが、いろいろ難しいところがあると思うのですが、どの教科書も工夫されていると思いました。特に日本文教出版ですが、すべての学習課題が「なぜ」とか「どうして何々だろう」というような表現になっていたと思います。そういう表現を学習課題に設定したら、それにあうように授業をしていこうと思えば、かなり先生方の工夫が必要になると思いました。帝国書院も、学習課題がシンプルに必要なところだけをあげておられると思って、これもよいと思います。また、東京書籍についても、生徒の問いに近い表現になっていたので、生徒が受け取りやすいのかなと思いました。

個人的には、日本文教出版が、学習課題の表現が一番授業を進めるのによいのではないかというような気がしました。

○常本委員

私も日本文教出版かなと思いました。小中それから高校との繋がりのところからすれば、導入しやすい形になっているのではないかと思います。

偶然見つけたのですが、元寇の乱のところの表現で、「防塁」なのか、「防壁」なのか、「石築地」なのか。帝国書院と東京書籍と日本文教が3社とも表現が違います。たまたま私が博多の近くに行ったとき、その表記は「防塁」となっているんです。すべて正しいとは思いますが、現地とのずれというのは、意外と子供たちは習ったことが残っている子があるので、一緒だったら「そうなんだな」と思うのでしょうか、そのあたりの表現が各社違うということが、専門家の考えによって違うのでしょうか、統一してもよいかと感じました。帝国書院が「防塁」となっていた。その小さなところなんですけど、気になりました。全体的な流れであれば、日本文教だと感じました。以上です。

○三ツ教育長

よいですか？私も、そうかなと思いました。探求、課題へのいざないが、丁寧だなということと、近代近現代史、戦後史の記述が充実しているというのは、わりと歴史の中で見落とされがちの部分であるということがあるのかなと。

それでは日本文教出版ということによろしいでしょうか。

○全員

はい。

○三ツ教育長

続いて、社会公民をお願いします。

【公民】

○田中学校教育課長

続きまして公民ですが、公民の第1候補は東京書籍の「新しい社会 公民」です。デジタルコンテンツが豊富で、様々な資料や学習ツールを活用すること

ができる。各章と節ごとに探求課題が設定され、章末には各節の問いを解決するためのチャートを使って活動が設定されるなど、単元のまとまりが体系的かつ丁寧で、学習者が活用しやすい構成となっている。導入の活動やまとめの活動、みんなでチャレンジなど、さまざまな場面で生徒の対話的な活動や問題解決的な思考を促す課題の説明がされているということで、第1候補となっております。

続きまして第2候補は、日本文教出版の、「中学社会 公民的分野」。紙面の資料が豊富で、様々な方法で学習者が活用することが可能である。各章の導入で日常生活と学習内容の管理を盛り込んだ漫画が示され、章末では学んだことをもとに思考ツールを使うなど、学習者が自分の考えを求める活動が設定される。体系的に単元が構成されているという点に、アクティビティやチャレンジ公民では生活制度の問題管理的な思考を促す課題が設定されている。このような点で、第2候補となっております。以上です。

○三ツ教育長

それでは、委員の皆さんからご意見をお願いします。

○徳山委員

私は日本文教の学習課題がわかりづらいとっていて、ちょっとどうかなと思いました。それから、帝国書院はどの教科もですが、探求的な学習課題がシンプルでわかりやすいと思いました。東京書籍も課題がよいと思ったのですが、特に良いと思ったのは、「みんなでチャレンジ」。公民は、自分ごととして一人一人の考えを持つことが大切で、自分の考えを持って、次にグループで討議するということは大事なのかなと思って良いと思いました。できれば、そんなに時間取らなくても、「ミニミニみんなでチャレンジ」みたいなものがあれば、もっと使いやすいと思いながら、東京書籍がよいなと思いました。以上です。

○高谷委員

私は、東京書籍のタイトルに「私も」とか「私たちの」とついてる、その自分ごとという感じがすごくよいなと思いました。どちらもすごくよかったです。先生方の研究で東京書籍が第1候補ということなので、私も東京書籍の方で。以上です。

○三ツ教育長

よろしいでしょうか。好みの問題ですけど、日本文教は法令集が後ろについていました。あれは公民として、秀逸だと個人的には思いました。そこを入れるかどうか別問題なんですけど。直接指導する内容ではない部分が多いので。教科書の構成自体は、東京書籍が何のために課題を追求するのかっていうことを大事にしてあって、学びやすさがあったと思う。それでは、東京書籍ということでもよろしいでしょうか。

○全員

はい。

○三ツ教育長

続いて、社会地図についてお願いします。

【地図】

○田中学校教育課長

続きまして、社会の地図です。第1候補が帝国書院の「中学校社会科地図」です。最新の写真や統計データ等地図以外の資料も豊富に掲載されている点。それから、津山地区に関係のある瀬戸内海の歴史について詳しく記述されている点。大阪や東京などの主要都市について詳しく記述されている点。それから地図帳だけでも主体的に学習を進めることができるようになっている点、として第1候補に上がっております。

第2候補は、東京書籍の「新しい社会 地図」です。こちらはユニバーサル

デザインを意識した紙面になっているというところがよいということ。あと、各地方に関する資料が数多く掲載されている点や、近畿地方や関東地方では、歴史等について詳しく記述されているというような点についてよかったと候補になっております。以上です。

○三ツ教育長

それではご意見をお願いします。

よろしいですか。

今あったように写真等が重ねて提示されていて、非常に見やすいということ
はよいと思いました。帝国書院ということでよろしいか。

○全員

はい。

○三ツ教育長

それでは、地図につきましては帝国書院ということでお願いします。

続きまして、数学についてお願いします。

【数学】

続きまして数学ですが、数学第1候補としては、東京書籍の「新編 新しい数学 MATH CONNECT 数学のつながり」となっております。学習者が見とおしを持ち内容を把握できるよう、タイトルや、めあてがページ上部に明示されているということ。それから、採択に関して、主体的に学ぶためにどういう教科書がいるのかという視点で選定をされたということですが、A1 に対して問いが1もしくは2問までに対応しているような形になっていたり、多様な回答を引き出すような教材の構成、必修事項から新出事項を用いた新たな考えを見とおすすめな構成になっているという点で、第1候補となっております。

第2候補としては、学校図書の「中学校 数学」となっておりまして、こち

らはページごとのレイアウトの統一性が少し東京書籍に比べて低いのかなというところで、第2候補になったということです。しかし、A1に対しては問2、3、4というふうな形で、様々な複数で考えていくというような構成になっていたり、Qでは考えてみようの場面が、一定数用意されているという点で、言語活動も見とおした、発展的な問題の構成になっているというところが、第2候補に挙げられた理由とされています。以上となります。

○三ツ教育長

それでは数学について、皆さんからご意見ををお願いします。

○徳山委員

どの教科書も、小学校からのつながりを大切にして、丁寧に、最初が学習に入れるようにしているなという感じがしました。それから、東京書籍はだんだん難しい順にするなど数学的な思考力を身につかせる工夫が一番見られたと思いました。学習図書も、めあて等の表記がシンプルで見やすいとは思いましたが、内容を総合的にみると東京書籍だと思います。以上です。

○常本委員

私も東京書籍かなと思います。私が迷ったのは、日本文教出版と東京書籍のどちらがよいのかということ。これも感覚的なものだと思うのですが、数字の概念が充実しているのが東京書籍かなと。数学と身近なところとの結びつきが表題として多い感じがしたので、東京書籍が良いと思いました。

○三ツ教育長

私も同じように思いました。小学校との接続においてですね、概念も含めて、それを拡張していくという見とおしが明確であるということ。あとプラスとの関連性というのはかなり意識されていたというのを感じました。余談で言えば、学校図書の「キーブレイク」です。私は拡散思考なので、そこは結構関心が広

がって、面白いなとは思いました。しかし、教科書の構成としては東京書籍が扱いやすいかなと感じました。

ということで、東京書籍でよろしいでしょうか。

○全員

はい。

○三ツ教育長

それでは続いて、理科をお願いします。

【理科】

○田中学校教育課長

理科ですが、理科の第1候補は東京書籍の「新編 新しい科学」です。写真やイラストを多様して生徒の興味が期待されていること、問題発見から課題まで自ら考えを求め振り返るまでの一貫性、探求の過程を生徒自身が繰り返し経験できる記載がされているという教材全体のバランスや、イラストや写真が詳しいというようなことを第1候補として挙げた理由と思っております。

第2候補としては学校図書の「中学校 科学」です。特徴として、実験する際、実験の内容や器具の取り扱い等は右書き1ページで記載されており、教科書を開いたままページをめくらずに参照できる形式となっているというのが、一番の良かった点と報告されております。以上となります。

○三ツ教育長

それでは理科についてお願いします。いかがでしょうか。

○徳山委員

どの教科書も、探求的な学習を進める工夫がされていると思いました。教科書によって若干違っているのが学習課題かなと思います。東京書籍と啓林館に

については学習課題の表現が似ていてわかりやすいと思いました。学校図書については、1年生は慣れるのが難しいのかな。専門が多いので難しいかなと思いました。ただ、専門性の高い先生は学習図書がよいといわれる方もおられるかなと思いました。説明にもあったのですが、東京書籍が一番よいと思ったのは、まとめのところが必ずどの時間にもあるということです。そのまとめ、ふりかえりを書くときに、その各内容に言葉が必ず例示してあって、それを使ってまとめを書くようになっていたと思います。これを毎日続けていけば、その評価を先生がしていくことで、若い先生は授業力のアップにつながる教科書になるのではないかと思いました。ということで、私は東京書籍がよいと思いました。

○常本委員

私はこの3つ、ものすごく悩みました。どれが一番よいのか。使う人がこれがよいと思えば、内容はすべて充実した内容になってると思いました。これだけの内容を中学校で、どのように子どもたちに力をつけさせていくのか。逆に教科書の向こうにある授業が見たいと思う感じでした。個人的にはこの啓林館が意外とよいなと思いました。ピクトグラムの表記もありましたし、それから探究的なことが軸としてあるのかなと思うので、個人的には啓林館がよいと思いました。3つとも、内容が充実したよい教科書だと思いました。以上です。

○三ツ教育長

よろしいですか。問いを発することを基本的に全部大事にしているなど、1番に感じました。東京書籍については先ほどの数学とも関わるのですが、学びと、その生活と社会との関連というのをかなり意識した構成になっているのが特徴として感じました。その意味で、子どもたちの日常化を図る上では、この教科書を活用して、先生方が授業を工夫するというのが扱いやすいのかなと思って見させていただきました。第1候補東京書籍ということでありましたが、教育委員のみなさまはそれでよろしいでしょうか。

○全員

はい。

○三ツ教育長

続いて、音楽をよろしくお願いします。

【音楽】

○田中学校教育課長

続きまして音楽です。音楽の方は、教育芸術社の「中学生の音楽」。一般の方ですが、第1候補と言っております。基礎基本を定着させるために、授業でも毎回確認できるよう巻末部分には音楽をかたち作っている要素、説明が具体的な楽譜や各教材と結びつけて示されていたり、話し合いを通して考えを深める活動ができるような構成となっているところで、生徒が扱いやすかったり、取り組みやすかったり、全体としてわかりやすい。教科書に記入する部分が資料と統一してある点などが第1候補しての理由となっております。

第2候補としては、教育出版の「音楽のおくりもの」で、学習活動をとおし、知識及び技能の定着が図られるよう、アクティブとして進んで学び合うための活動例が示されているというところ。自主的、補充的または発展的な学習を行うことができるように学びリンクが設定されているなどの部分が多かったということで報告されております。以上です。

○三ツ教育長

それでは音楽一般についてよろしくお願いします。

○常本委員

私は教育芸術社の方がよいです。どっちもよくできているのですが。歌舞伎の写真紹介や、写真の入り方が単調なのが教育出版かな。教育芸術社の方は特

徴を捉えながら写真の配置ができてるから、音楽にイメージが広がる教科書は教育芸術社の方かなと私は思いました。

○三ツ教育長

その他いかがでしょうか？受け取り方の問題なんですけど、私も教育芸術社の方がじっくりくるという印象はありました。1番感じたのは、音楽はいろいろな技術があるのだけど、人生を豊かにするものなんだよという主張として感じた。あくまでイメージですけど思いました。

では、研究委員の方からは第1候補が教育芸術社ということなので、それでよろしいでしょうか。

○全員

はい

○三ツ教育長

それでは、教育芸術社ということでお願いします。続いて、今度は器楽をお願いします。

【器楽】

○田中学校教育課長

続きまして、器楽についてですが、器楽の第1候補も同じく教育芸術社の「中学生の器学」となっております。視覚的な見やすさ、歌唱教材の短さ、鑑賞教材が時代の流れに沿っている、鑑賞教材について学年が上がることに編成が徐々に大きくなる、日本の伝統芸能等が発達段階に沿った流れになっている、器楽の資料の充実、表紙の区別のしやすさ等が選定される際の視点となった中で、基礎基本の部分で、練習曲等でも生徒が知っている曲、馴染みやすい曲を取り上げている点や、表紙についても器楽の教科書であることがわかりやすいところ、楽器の順番もリコーダー、ギターなどと取り組みやすいものを取り上

げている点が第1候補として選ばれたとなっております。

第2候補が、教育出版の「音楽のおくりもの」ですが、こちらの方はリコーダーの学習において、段階的に機能が身につけられるような短い練習曲が示されている点や、SDGs との関連なども、中には示されているという点が良かった点として報告されています。以上です。

○三ツ教育長

それでは音楽器楽についてご意見をお願いします。

よろしいですか。それでは、研究委員の第1候補が教育芸術社ということです。真庭市もそういうことでよろしいですか？

○全員

はい。

○三ツ教育長

では、そのように確認させていただきます。続いて、美術についてお願いします。

【美術】

○田中学校教育課長

それでは美術ですが、第1候補としては光村図書の「美術」。表現と鑑賞の二つの観点が明示されており、1時間のうちでそれぞれポイントを持って学習できるという点や、防災のデザインなど、そういう美術の学びが生活や社会につながっているような、そういう構成になっているところ。別冊資料も取り扱いやすいというようなところが第1候補に選ばれた意味となっております。

第2候補としては、日本文教出版の「美術との出会い」です。こちらとしては日本美術と世界美術の歩みを紹介し、比較できるような、暮らしに気づくアート、パブリックアートと美術が身近な生活にある、そういうような構成にな

っているというところが、大変評価されたということです。以上となります。

○三ツ教育長

それでは美術についてご意見をお願いします。

○徳山委員

ほとんどの教科書で、その発想や構想で表現したりするこその楽しさを追求する工夫がされているなと思いました。また、興味をそそられるような単元が多いなと思いました。日本文教は教科書の作品の鑑賞から発想を広げるところで、面白い流れを考えられているなと思いました。バランス的にいって、光村図書が探求的な学習を目指してる。他教科との関連性を考えると、その光村の学習の流れが一番ふさわしいのかなと思いました。以上です。

○三ツ教育長

いかがでしょうか。よろしいですか。それでは美術については光村図書というご意見でした。そのように確認させていただきます。

○全員

はい。

○三ツ教育長

続いて、保健体育についてお願いします。

【保健体育】

○田中学校教育課長

続きまして保健体育ですが、第1候補といたしましては、東京書籍の「新編、新しい保健体育」が第1候補となっております。1時間の主な流れが、見つける・学習課題・クエスチョン・課題の解決・活用する広げるの統一した順で構

成されていて、見とおしをもって学習しやすい構成となっている点、見つける・活用するで図表が多く使われており、例などをもとに考え、実生活と繋げて考えやすくなっている点。コンテンツの充実、今日の課題となっている多様性や命を守る資料も入っていて、自然災害の防災タイムライン等が掲載されている。そういう点が、第1候補となった理由となっております。

第2候補は、大日本図書の「中学校保健体育」になります。本文と資料が左ページと右ページに分けて整理されやすくてなっていて見やすいという点や、1時間の授業の流れが、つかおう・やってみよう・話し合ってみよう・調べてみよう・活用してみよう・活用して深めようの順で構成されていてわかりやすい点。特別支援教育やユニバーサルデザインに配慮があり、1年の保健分野では読みやすい位置で改行するなどの工夫があるという点で、第2候補となっております。以上になります。

○三ツ教育長

それでは保健体育についてご意見をお願いします。

○徳山委員

保健体育の学習では、探求的学習の単元をどのように組んでいくかということが大事なところだと思いますが、そういう意味で学習課題が大切だと思う時に、東京書籍の方が流れがよいと思いました。大日本図書の方は、探求的な学習の流れはとても工夫されているなと思ったのですが、学習課題の表現が探求的な表現になっていないという感じを受けましたので、東京書籍が妥当かなと思います。

○常本委員

バランス的には東京書籍がとてもよいと思います。個人的に使ってみたいのは、大日本図書の方を使ってみたいと。どれぐらい、この教科書の内容を子どもたちに伝えられるのか。非常に幅広く体育分野と保健分野で考えさせること

があるのですが、どれだけ時間をとってこれを伝えていくのか、そっちの活用の方が私は気になっています。それと一つ、個人的にはウェルビーイングという言葉がこれだけ世の中で出てきているのに、ウェルビーイングという言葉が健康の定義のところ、どちらの教科書にもあまり出てきていない。WHOの健康の定義の原文の中に、ウェルビーイングというのが出てきている。そういうところも、今の時代であれば、触れてもよいのではないかと思う。東京書籍は、そのあたりがぼやっと書かれている。大日本図書の方はきちっと健康の定義を日本語に訳したものが載っている。そういうところは、どっちの教科書もおさえてほしいなと思いました。以上です。

○三ツ教育長

いかがでしょうか。私もバランス的には東京書籍がいいのかなと思いました。今、常本委員がおっしゃったのですが、社会問題というか、いわゆる本来何が大事なのか？という部分が、説明的であったと感じましたが、暮らしで生かしていこうという観点が明確なのかな。大日本図書については、資料が非常に充実しているという印象を持ちましたが、扱いようによっては情報が多すぎるということもあるのかなとも思います。バランスとして東京書籍の方がよいのかなという感じですが、よろしいでしょうか。

○全員

はい。

○三ツ教育長

では保険体育は東京書籍ということですか。続いて、技術家庭についてお願いします。

【技術】

○田中学校教育課長

まず、技術分野のところで第1候補となっているのは、東京書籍「新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology」ということです。候補となった理由としては、生徒が主体的に深い学びができるような課題設定や問題解決に流れが資料で明確に示されている点や、資料を中心に視覚的に分かりやすくして制度を学びやすい、実生活につながる課題も示されているということで、第1候補となっております。

第2候補は開隆堂の「技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて」です。家庭学習につながる章末のワークシートや、生徒の主体的な学習を促す課題が随所に設定されている点。それから、実生活の中で生かせる探究的な課題が設定されている「インタビュー」というコーナーがあって、これらの生活で必要となってくる課題が提起されているという点などが候補となった理由とされております。以上です。

○三ツ教育長

それでは技術家庭の技術についてご意見をお願いします。

○徳山委員

技術は社会の変化に影響を受けやすい教科なのかなと思って。学習内容がどんどん増えていくということも考えられる中で、どの教科書もそれをうまく教材として扱って、探究的な学習に単元を工夫されていると思いました。開隆堂の方は、そこを視覚的にパッと見た感じで見やすくて分かりやすいと思ったのですが、学習課題の表現の仕方が、東京書籍の方が生徒の問いに近いものを工夫してされているなと思いました。ということで、バランス的に言って、東京書籍がよいと思います。以上です。

○常本委員

どれもすごく内容が多いように、その深さに感心したのですが、特に教育図書は、ひょっとして現場で、自分が実践した先生方が、たくさん書かれたのか

なと感じられるぐらい、もう思いが思いっきり詰まった教科書だと思いました。意外とこれもよいのではないかと思ったのですが、バランス的には東京書籍になるのかなと思いました。以上です。

○三ツ教育長

よろしいですか。それでは東京書籍ということでよろしいでしょうか。

○全員

はい。

○三ツ教育長

続きまして、技術家庭の家庭をお願いします。

【家庭科】

○田中学校教育課長

それでは家庭の分野の方ですが、家庭の方も東京書籍の「新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して」が第1候補となっております。東京書籍の評価となった理由としては、生徒が主体的で対話的な深い学びができるようなデジタルコンテンツが多種類あって、動画シュミレーション、思考ツール、ワークシートクイズ、資料ウェブサイト他教科リンクに取り付な形で、これが様々なタブレット学習をアシストしやすくなっているという点。特別支援の子どもたちにも学びやすいのではないかという点。それからプロに聞くというコーナーがキャリア教育にも力を入れていて、専門家から知識を習得することができる。そういう構成になっている点が第1候補となった理由となっております。

第2候補も技術分野と同じく開隆堂の「技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ」ということで、こちらの方も、ウェブコンテンツに入ると目次が表示されて、調べたい内容を簡単に検索できるようなシステムになって

いる点。授業に必要な内容を短時間で見つけやすいような構成になっているところ。授業で使用できる資料が豊富で取捨選択して活用することができる点などが、知りたいという思いを沸き起こす部分となっているのではないかということ、第2候補となっております。以上です。

○三ツ教育長

それでは、家庭についてご意見をお願いします。

よろしいですか。それでは、研究委員の方からの第1候補は東京書籍ということですが、東京書籍ということによろしいですか。

○全員

はい。

○三ツ教育長

それで確認をさせていただきます。続いて外国語についてお願いします。

【外国語】

○田中学校教育課長

それでは外国語ですが、第1候補は開隆堂「Sunshine English Course」となっています。英語科がその選定として重視したのが、美作地区の子供たちと海外とのつながりが薄いことや、それから、家庭学習の定着という点も大切に教科書を選んだとのこと。第1候補になった「Sunshine English Course」ですが、デジタルコンテンツが充実していて、解説動画が生徒モデルによる対話画面設定も用意されていたり、1年生当初で生徒の理解定着が進むようにb動詞と一般動詞を明確に区別した構成になっている点などが良かったということ。グローバルな視点で、多面的、多角的に習得できる教材が組み込まれている点などが評価されています。

第2候補といたしましては、東京書籍の「NEW HORIZON English

Course」になります。こちらの方もデジタルコンテンツが充実していて、対話的な学習の、ペアやグループでのコミュニケーション活動が豊富に用意されている、そのような点で、生徒のアウトプットを重視した構成となっているところが、評価をされている点となっております。以上になります。

○三ツ教育長

それでは英語についてお願いします。いかがでしょう。

○常本委員

1番は開隆堂かなと思いました。文法のところがわかりやすく表記してあるのがよいと思う。ただ、どの教科書も、会話のところで英語の文章が短すぎるのではないかというところがあります。会話のところはイラストや写真が多いし、わかりやすいのですが、やっぱり中1ぐらいの時にしっかり英語の呼び込むという作業が、意外といるのではないかと私は思っています。だから、もっとどんだんどんだん英語を読んで、英語で理解していくようにしていく必要があると思ったので。その中で、開隆堂さんが、この中では一番です。東京書籍と迷ったのですが、どちらかというとな開隆堂かなと思いました。以上です。

○三ツ教育長

いかがでしょうか。こういった教科書で勉強してもう少し英語が好きになってくれたらという気がしましたけど。小学校との接続に結構配慮されていたり、文法で言えば「英語早分かり」というページが整理して学べる構成になっていて、学習がしやすいのかなっていうことを開隆堂について思いました。あと、外国の暮らしや社会問題への関心が高まるような構成になっているということも特徴的だなと感じました。では、開隆堂でよろしいでしょうか。

○全員

はい。

○三ツ教育長

続いて、道徳についてお願いします。

【道徳】

○田中学校教育課長

それでは、道徳の第1候補は、教育出版の「とびだそう未来へ」となっております。題材はじめに考えさせたいこと問い、題材末には道徳的価値の理解を深めたり、道徳的実践を促したりする問いが示されており、主題に迫る学習が展開できるようになっている。全学年にいじめをなくそう、つながりあって生きる命を輝かせるといったユニットとして複数の題材が使われている。このような点が第1候補として選ばれた理由となっております。また、特徴として、やってみようのロールプレイング。読んだ生徒が多様な意見を述べられる題材が多く収録されていて、問題や葛藤をどうすればよいか自分ごととして考えられる場面が多くあるというようなところ。協働的に考えていくことが可能という点です。

第2候補となっているのは、日本文教出版の「あすを生きる」となっており、発達段階に応じて学年ごとのテーマが定められており、自己理解、社会参画と自己有用感、公共の精神と国際社会への意識といった三段階で生徒の道徳心を育むことができる点。付属のノートが生徒の学びの変遷、どの教材でどのように考えていたかなど、生徒自身、それから教師側の両面で分析しやすいようになっているというような点が第2候補としてあげられる理由となっております。

○三ツ教育長

それではご意見お願いします。

○徳山委員

どの教科書もバランスよく載っているなと思いました。それから、時間があ

れば本当にじっくり読んでみたいと思いました。イチローなど、わりと最近のスポーツ選手等が多く扱っている教科書もあったりして、流れが面白いなと思いました。今問題になってる SNS を題材として取り上げていたのは教育出版だけかなと思います。全学年で少しずつですが、題材として載せて、扱っておられたので、このあたりがすごくよいと思いました。

そういうことで、教育出版がいいのかなと思いました。以上です。

○三ツ教育長

いかがでしょうか。よろしいですか？

○常本委員

私はね、1番は学研にしたんです。非常に題材のバランスがよいと思って。教育出版もよいのですが、ずっと最初から読んでいくと、大人側から見るとよいが、子どもがどう捉えるのかなと。読んでいてすごく息苦しくなってくる内容の文章があって、大人からすれば、こういうことを感じてほしいなあと思って教えるのだらうと思うのですが、子どもはそのあたりのことをどう捉えるかなということが気になって。

未来を感じられような文章があったのは学研だったと思う。2番目が日本文教ですかね。ただ、いろいろな題材が多すぎる気もしました。どういう風に教えるのかによって、その歴史的な背景がわからないと、この言葉がこの題材が入ってこないという難しさもあるかなと感じながら、大人が響く内容と、子供が響く内容ということも想像して、道徳はやっていく必要があるかなと読んでいて思いました。どれもバランスがよくできているのですが、どう活用するのかというところに、私は興味が進んでいます。以上です。

○三ツ教育長

質問いかがでしょうか。悩ましいところですよ。本当にどう活用するのか、題材をどう生かしていくのかということ。教育出版の教科書に対して言えば、

人の生き方や考え方に触れる題材が多くて自問するような題材が多かった。それを想像しながら考え、議論するということには適しているのかなと大人の目で見えて思いました。子どもたちでは、それをどう自分の中に腑に落ちるというかね。そんなことも含めて議論していくということは、まさしくどう扱うかということに繋がるのだと思います。

研究委員の順番でいくと教育出版ですかね。常本委員さんは学研というご意見だったので、ここで1社選定となるので意志をお願いします。

○常本委員

どれを選ぶのかというと学研と私は思っただけで。

実際、自分で授業をしたことがないのでわからないのですが、授業しやすいのが教育出版であればそれでも別によろしいです。

○三ツ教育長

それでは、よろしいですか。真庭市教育委員会としては、教育出版ということではよろしいでしょうか。

○全員

はい。

○三ツ教育長

以上で、すべてですね。ご議論いただきましたが、とにかく全体つうじてご意見ありますか？

○徳山委員

すごく、どの教科書も探求的な学習になるように工夫されていたと思います。そのためには、どうこの教科書を使えばよいのかという説明が、最初にどの教科書も書かれていたように思います。多分それがですね、昔の携帯電話のマニ

ユアルのような感じで、ずっと読み込めば、きっとすごくよいのだろうと思うのですが、あれを子どもがずっと読むかなと思いました。先生もあれを読むのかなと思いました。あれを5分ぐらいの動画にまとめて、さっさと見せて、いつでも見られるようになっておけば、それで十分ではないかなと思いますので、どこかそういうことを工夫されるところが出てくればよいと思いました。以上です。

○常本委員

いろいろな教科書のところに「探究」という言葉がたくさん出てきて、探究のものの考え方とか、いろいろな進め方がずっと書いてあります。すべての内容を、探求的というわけにはいかないと思うのですが、そのあたりを中学校の先生方は、どのようにバランスを取りながらやっているのかを、すごく教科書を読んでいて思いました。確かに、探求に関する考え方というのは、教科書に書いてある順番に、子どもたちの気づき等を取り上げていってやっていけばよい。じゃあ、それで自分でやってみようという時間があるのかなと。教科書を全部やっていって。全体でいろいろな教科があるわけで、どのようにバランスをとって教えているのか、どのようにピックアップしてやっているのか。昔よくいった力を入れてやっていく部分と、さらっと流していく部分とか、いろいろあったのですが、全部だったら、本当に大変なのではないか。最初に言いましたが、中学校でこれだけの内容をやっているのであれば、高校ではそれにプラスアルファのことをやっていけば、すごい力を持った子どもたちに育てていくのだろうか。興味関心という学びに対して、分かったとか、できたということを感じる子どもたちを一人でもたくさん作っていく必要があると、読んでみて思いました。以上です。

○三ツ教育長

ありがとうございます。委員にもたくさんのご指摘がありました。いわゆる習得主義と履修主義という問題も、やっぱりあるんだろうと思っています。合

わせて、興味関心を高めるということで、子どもたちの学びがいかに主体的になっていくのか。結局はどういう授業を、教科書を活用しながらやっていくのかということにつながるのだと思いますので、研究を今しているところではありますが、改めてこれは別途先生方との課題としてですね、やれたらと思います。

その他ありますでしょうか？

○高谷委員

一番最初に申し上げたことと同じかもしれないのですが、すごく親切にできている教科書が多いと感じました。主体的な学びをするために、いろいろ準備されている感じがして、それが、主体的な学びになるのか？みたいな疑問も湧きました。結局、みなさんがおっしゃっているように、どう教科書という道具を使っていくのかということになるのかなと改めて感じました。

○三ツ教育長

ありがとうございます。そうした点も、いわゆる指導と直結する内容、授業づくりと直結する内容だと思いますので、そのあたりのところも考えていけたらなと思います。

○田中学校教育課長

今日の真庭市教育委員会としての案を確認させてください。

国語 三省堂

書写 東京書籍

地理 帝国書院

歴史 日本文教

公民 東京書籍

地図 帝書院

数学 東京書籍

理科 東京書籍

音楽 教育芸術社

器楽 教育芸術社

美術 光村図書

体育保健 東京書籍

技術 東京書籍

家庭 東京書籍

英語 開隆堂

道徳 教育出版

となりました。間違いございませんか。その確認のもとで、次の採択協議会に報告します。

○全員

はい。

○三ツ教育長

それでは長時間になりましたが、日程第五、協議事項については以上です。

それでは日程第六、その他です。委員のみなさんから何かありますか？

よろしいですか。事務局から何かありますか？

○武村教育次長

・第11回教育委員会 9月24日（火）9：30

○三ツ教育長

それでは、以上で教育委員会会議を終了いたします。

（11時07分 閉会）